様式第1号(第7条関係)

年 月 日

沖縄県知事 殿

□ 新規 □ 区間変更

バス通学費等支援事業認定申請書(バス・モノレール通学費支援)

次の5点を確認	忍の上、	□にレ点を	付けてください	ハ。 (こ	の欄にチェ	ック	がない場	合は、	認足	定できません)		
□ この申請	書の記載	対容は、事実	に相違ありません										
□ この申請	□ この申請書に虚偽の記載があった場合は、沖縄県の求めに従い、沖縄県が負担した通学費全額を即時返還します。												
□ 生活保護の生業扶助(高等学校等就学費)または教育扶助を受給していません。													
□ この申請 □ 等を除く	の対象と	:なる高校生等 :弁対象ではあ	は児童福祉法に。	よる児童ス	、所施設措置費	貴(見:	学旅費又は	:特別育	成費	(母子生活支	援施設の	高校生	
_ 必要な場	合に限り	、沖縄県が手	当の受給状況、在関が県へ回答する。	生学状況、 ろことに同	バス・モノレ i音します	ノール	の利用状況	等を市	町村	1、学校、交通	事業者等	の関係	
	保護者等		100 N 100 9 N	3 C (C)	1757 0 00 9 0								
ふりがな	不受日元	F /											
申請者氏名					生徒との関係 ※該当する□に レを記入		□ □ 親権者 □ □ 未成年後見人 □ 主たる生計維持者 □ 生徒本人						
	₹												
申請者住所等	TEL	: ()	_									
2【対象となる生	主徒 】												
ふりがな					□ 男	.,	4 1 1 1	昭和	П	_			
氏名					□ 女	生	年月日	平原	戈	年	月	日	
生徒住所	※申請者	主所と同じ場合は、	、「申請者と同一」と	記入して下る	さい。寮に入る場	合は、	寮の住所を記。	入して下	さい。	(寮から学校まて	が支援対象	です。)	
在学する学校	学校名: 沖縄県立向陽高等学校							年生	課程	全日制 その他(定時	制)	
3【バス利用区間		1つの口にレ	点を付けてください	``						①~⑤のバス事業 者	*:主に利用	する系統者	
利用バス事業者	□①琉球バス交通 □②那覇バス □③沖縄バス □④頁 □⑤琉球バスを通 □②那覇バス □⑥高速バス(系統番号111,□⑦やんばる急行バス □⑧平安座総合開発 □⑨国頭村営 □⑩宮古協栄バス □⑪八千代バス・タクシー □⑫共利□③東運輸 □⑭久米島町営バス □⑬護佐丸ノ□⑯Nバス					117) 営バス ロバス	Z	系統都	号を 1 つ 記入して下さい ⑥ ~%のバス事業者 :系統番号があれ 記入して下さい			∤があれば	
利用区間	()	~	(•)		
※①~⑤のバス事業者	皆を選択し	ノた場合、記入	した系統番号以外で	で利用可能	な系統番号があ	あれば (OKICA発行時	きにお知	らせ	します			
【バス利用区間	間等②】	※乗り継き	がある場合に	記入して	下さい								
利用バス事業者	□①5 □55 □7ぐ	施球バス交通 施球バス・沖縄 Pんばる急行バ I古協栄バス 運運輸	点を付けてください □②那覇バス バス共同運行 □@ ス □⑧平安座総合 □⑪八千代バス □⑭久米島町営	□③沖縄 ⑤高速バス 合開発 ス・タクシ	(系統番号111, □⑨国頭村営	営バス	z	系統都		① 〜⑤のバス事業者 番号を 1 つ 記入し ⑥ 〜⑯のバス事業 記入して下さい	て下さい		
利用区間	()	~	()		
※①~⑤のバス事業 者	皆を選択し	ノた場合、記入	した系統番号以外で	で利用可能	な系統番号がよ	あれば (OKICA発行問	まにお知	らせ	します			

利用区間) ~ () ~ () ~ () ※バスとモノレール両方を申請する場合、利用区間の重複は認められません(バスとモノレールを乗り継ぐ場合のみ可)

4【モノレールの利用区間】